



千島 杏心 ちゃん
「お兄ちゃん大好き!!!」
(中村町)



原 琉晴 くん
「じいじ、ばあば大好き!」
(大野原)



吉田 有花 ちゃん
「えくぼが
チャームポイント♪」
(阿保町)



古川 椋大 くん
「くるま大好き!」
(寺尾)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

「小学生とのふれあい体験」

(秩父農工科学高等学校)



秩父農工科学高等学校では、夏季休業中の期間を利用して、小学生との「ふれあい体験」を実施しました。「ふれあい体験」は、秩父市教育委員会

との連携のもと毎年行われているものです。

7月24日機械システム科・森林科学科、26日食品化学科・電気システム科・ライフデザイン科、8月1日専攻科、7日フードデザイン科が行いました。

機械システム科では、モデルロケットの製作が行われ、子どもたちは、真剣に取り組んでいました。完成したロケットはグラウンドで飛ばし、100メートル近くの高さまで到達したロケットもありました。みなさん楽しそうに参加していました。

森林科学科では、シジュウカラの巣箱作りを行いました。慣れない手つきで、のこぎりで木を切ったり、かなづちで釘を打ったり、機械で穴をあけたりしました。子どもたちは、始めのうちは不安な顔つきで作業していましたが、時間がたつにつれて作業にも慣れ、笑顔で巣箱を完成させることができました。

楽しく充実した時間を過ごすことができ、これからも「地域と共にある高校」として魅力を伝えていきます。



市民文芸

短歌

年重ね希望の薄き日日なれど針運ぶ手に勇氣湧きいず
歳とらぬ娘を待ち続けふたたびの涙こらえて送り火を焚く
雨降りて掘れぬジャガ芋気がかりで午後は毎日猿の当番
リビングに揃うことなく一人居て手作りパークの熱熱を食う
愛しさが少し遠のく心地して涙で霞む孫花嫁に
草引けば無名の墓に並びいる小さな石あり盆の近づく
山間の沢より出でし乳白の霧立ちたれば昇龍のごと
娘の思い叶えて伊豆の海青く重ね来し日日を夫と語りぬ
甘き香に夕光さして孫子らと佇み仰ぐ藤の垂り花
緑蔭に鳥の声聞く蓮の池夕日真つ赤に花の浮き立つ
(評)町田さん、九十五歳になられた由。下の句に力強さを感じます。渡辺さん、切ない歌です。娘さんの分まで元気で過ごしてください。千島さん、今年は雨の多い梅雨でした。下の句で意表をつかれました。加藤さん、上の句を凌ぐ下の句、充実感が伝わってきます。齋藤さん、お孫さんへの強い愛情を感じます。浅賀さん、小さな墓石は草に埋もれていたのですね。よいことをなさっていますね。金子さん、立ち上る霧の比喩に説得力があります。栗原さん、娘さんのやさしい心遣いが伝わってきて心温まる作品です。原さん、全てが一体となった印象的な作品です。濱田さん、色彩感の見事さを感じさせてくれます。

※次回10月号は俳句を掲載します

綾部 光芳 選

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 9月末締切→11月号に掲載
俳句 10月末締切→12月号に掲載